

SMBC

SMBC経営懇話会

三井住友銀行グループ
SMBCコンサルティング

マネジメント

プラス

4
2015

特集

環インド洋経済圏を先取りする!

経済産業省通商政策局

時吉 康範 株式会社日本総合研究所 社会・産業デザイン事業部ディレクター

アジア市場に挑む

オプテックス株式会社

講演会サマリー

高橋 進 株式会社日本総合研究所 理事長

河野 龍太郎 BNPパリバ証券株式会社 チーフエコノミスト

挑戦する企業

新田ゼラチン株式会社





「クリーンウォーター®」(写真左)の開発によって、分別後の有効活用資材の割合が大幅に拡大された。東北での震災後の瓦礫に「クリーンウォーター®」を噴霧している(右)。同社は日本リ・ソイル工業共同組合(環境省認可:環東地廃発第060612001号)賛助会員加盟。
<http://www.r-soil.org>

兵庫県神戸市に本社を構えるテクニカ合同株式会社は、土に特化した化学薬品メーカーだ。土木工事に関するインフラ整備事業・環境循環事業と、産業分野における多機能化学事業を軸に国内外で事業を展開している。

例えば主力製品の1つ、「高分子改質剤」は、土木整備の現場で発生する土砂や汚泥をスピーディーに固化・リサイクルすることができ、処理時間の大幅な短縮やPH中性といった環境負荷の低減ができる特長があり、従来のJIS規格製品の代替として都市土木工事を中心に活躍の場は多岐にわたる。

「対象物が土である限り、事業の可能性は無限です。事業が社会に役だっているのかを常に意識しています」と語るのは、代表取締役の寺尾好太氏。

また、同社では製造のアウトソーシングを基本戦略としている。「環境変化への適応力を高めるだけでなく、製造を委託する国内外の化学薬品メーカーと連携することにより、営業面で競争力を高める狙いもあります」という。

2013年には、鴻池組をはじめ4社合同で「高分子系改良剤・クリーンウォーター®」(特許出願中)の開発に成功、国土交通省の公共工事における新技術情報システム(NEETIS)の登録製品にもなった。これは東北地方の震災復

興や不法投棄跡地などの瓦礫・廃棄物処理における高精度分別を可能とする薬剤で、粉じん抑制・工期短縮のほか、土壌から重金属を溶出させる懸念がないなどの利点がある。こうした事業領域について、同社では「Civil Chemical®(土木化学)」として21世紀における新たな分野を確立しようとしている。

「今後も国内では東京オリンピックやリニア新幹線、国外ではASEANや中東での生活インフラ事業、中国・欧米諸国の環境関連事業と積極的に活動領域を広げていきたい」。2019年度には年商30億円を目指すとしている。



「社名の『合同』には、取引先さまと協調する意味合いをこめています」と語る寺尾好太代表取締役

土に特化した化学薬品メーカーとして Civil Chemical® (土木化学) の定着を目指す



テクニカ合同株式会社

Corporate Profile

代表取締役 寺尾 好太
 本社 兵庫県神戸市東灘区本山南町 8-6-26
 創立 1969年10月
 売上高 11億円(2014年3月期)
 従業員 13人(2014年3月)
<http://www.technica-goudou.co.jp/>

